

ニューヨーク国連研修

ニューヨーク国連研修

何のために働くか

国際社会学科国際関係専攻2年

高木 麻希

8月26日から9月3日までニューヨークで行われた国連研修に参加しました。

5日間にわたる国連本部でのブリーフィングでは、現役職員から国連が取り組むさまざまな問題について説明していただき理解を深めました。世界に目を向けると同時に、国際社会の中の日本について考えるのも良い経験となりました。

英語でのブリーフィングもあり、あまり自信がなくとも思い切って質問してみると期待以上の答えが返ってくることが嬉しかったです。

女性職員とのパネルディスカッションでは、国連で仕事をすることになった経緯や外国で働く上で気をつけていることなど、たくさんお聞きすることができました。皆さん自分の仕事にやりがいを感じていらっ

しゃり、「根本的に何のために働くのか考えさせられる」という言葉はとても印象に残っています。

今回の研修を通して、海外で働くことも含めてさまざまな可能性を感じるようになりました。また、自分の将来をもつと自由に考えていいのだぞ前向きになれたと思います。
(たかぎ・まさき)



▲研修最終日のブリーフィングを終えて(筆者は右から2番目)